

報告第2号

平成20年度基礎学力調査の結果

1 調査の目的

本県児童生徒の基礎学力の定着状況や学習に対する意識、生活の状況について把握・分析し、各学校における教育活動全体の見直しや、教科等の指導法の工夫改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒（公立小・中学校の全ての児童生徒を対象とする。）

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	226校	226校	97校
実施児童生徒数	11,094人	10,919人	10,353人

(2) 教員（抽出した公立小・中学校の教員を対象とする。）

区 分	小学校	中学校
実施校数	75校	37校
実施教員数	1,210人	778人

3 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

イ 質問紙調査

学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等について、質問紙調査を実施した。

(2) 教員に対する調査

授業に対する意識や指導法の工夫改善に関する状況等について、質問紙調査を実施した。

4 調査の日時

平成20年4月21日(月)

区分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語(45分)	社会(40分)	社会(45分)
	2限	算数(40分)	理科(40分)	理科(45分)
	3限			英語(45分)
質問紙調査	児童生徒対象 : 当日実施 教員対象 : 当日までに実施			

5 調査の集計及び分析の方法

(1) 教科に関する調査

全ての小・中学校における調査対象学年の中から、1学級ずつを無作為抽出し、集計・分析を行った。

(2) 質問紙調査

ア 児童生徒に対する質問紙調査

(1)の中から、さらに無作為抽出した小・中学校の児童生徒の調査結果を基に集計した。

イ 教員に対する質問紙調査

アの学校の全ての教員について調査し、集計した。

6 調査結果の概要

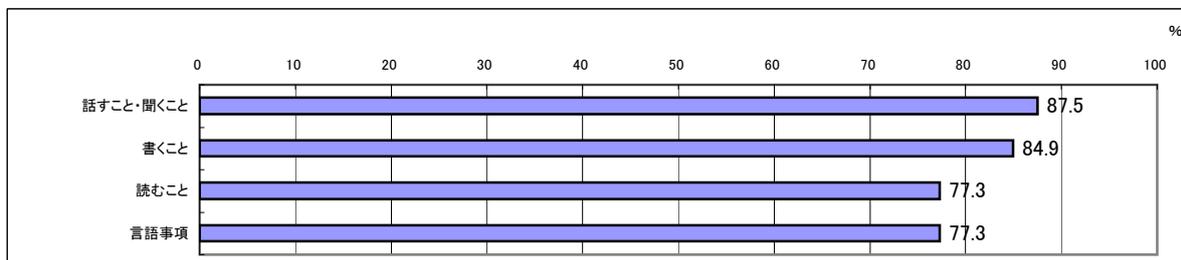
(1) 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

県全体の正答率

80.3%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎: 良好である ○: 概ね良好である △: 十分とはいえない ▲: 不十分である

[話すこと・聞くこと]

◎: 大事なことを落とさずに聞くこと、丁寧な言葉で話すこと

[書くこと]

◎: 相手や目的に応じて、自分の意見を書くこと

○: 句読点の打ち方、長音・拗音・促音などの表記

[読むこと]

○: 目的に応じて、細かいところに注意しながら読むこと

△: 段落相互の関係をとらえること

[言語事項]

○: 漢字の書き取り・読み

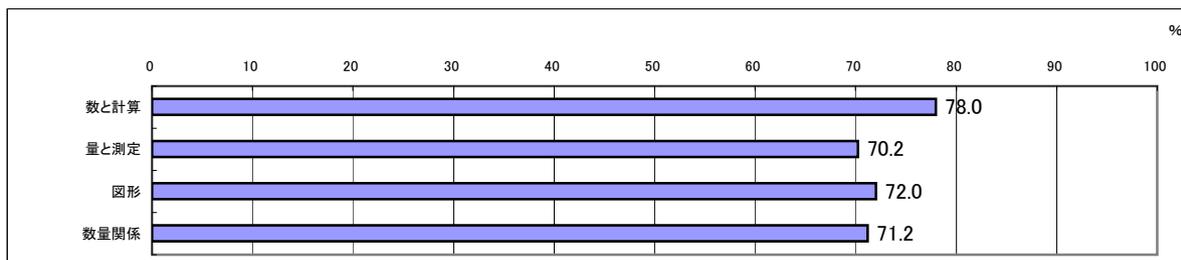
△: 「主語」と「述語」の関係の理解、「田」の筆順の理解

《小学校第4学年 算数》

県全体の正答率

74.8%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎: 良好である ○: 概ね良好である △: 十分とはいえない ▲: 不十分である

[数と計算]

◎: 基本的な四則計算

△: 加法の計算の工夫、問題の条件を整理し考察すること

[量と測定]

◎: 長さの測定

△: 時計の見方と時間の考え方

[図形]

◎: 直方体を構成する面の理解

▲: 敷き詰め活動による平面図形の理解

[数量関係]

○: 二次元表の読み方の理解

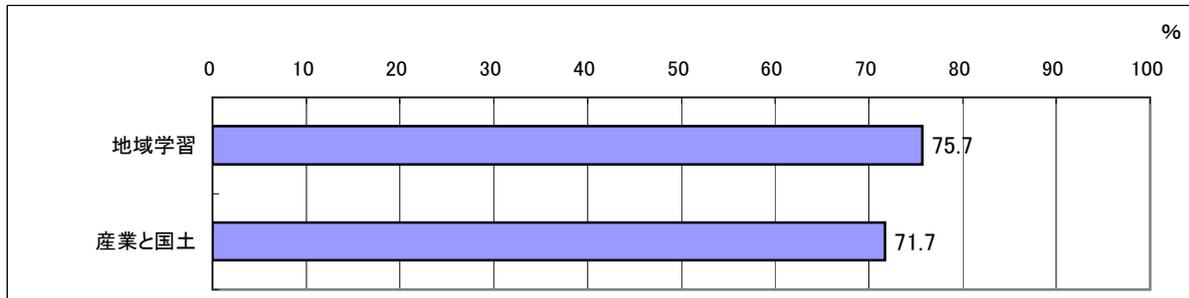
△: 棒グラフの作成や読み方

《小学校第6学年 社会》

県全体の正答率

73.6%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である △:十分とはいえない ▲:不十分である

[地域学習]

- ◎: 石川県の地形の概要についての理解
- △: 警察と関係機関との連携についての理解
- ▲: 石川県の伝統産業についての理解

[産業と国土]

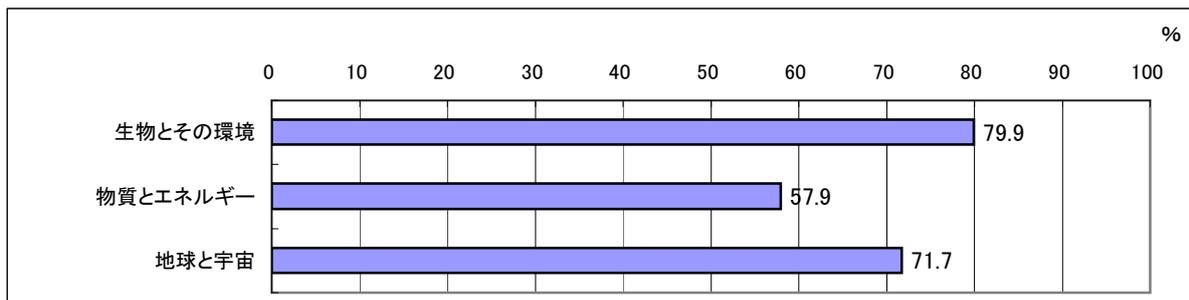
- ◎: テレビ、新聞、インターネット等の情報の特色とその有効な利用についての理解
- △: 日本の工業の特色について、複数の資料から読み取ること
- ▲: テレビ、新聞の特性を説明すること
- ▲: 日本の国土の位置を適切に表すこと

《小学校第6学年 理科》

県全体の正答率

67.4%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である △:十分とはいえない ▲:不十分である

[生物とその環境]

- ◎: 昆虫の体の特徴についての理解
- : 結実の条件の考察と結実を確かめるための実験方法の理解

[物質とエネルギー]

- △: 回路図の作成
- △: 溶解度についてのグラフを読み取り、考察すること
- ▲: 水のかさの変化についての理解、日常生活における水の蒸発に関する理解

[地球と宇宙]

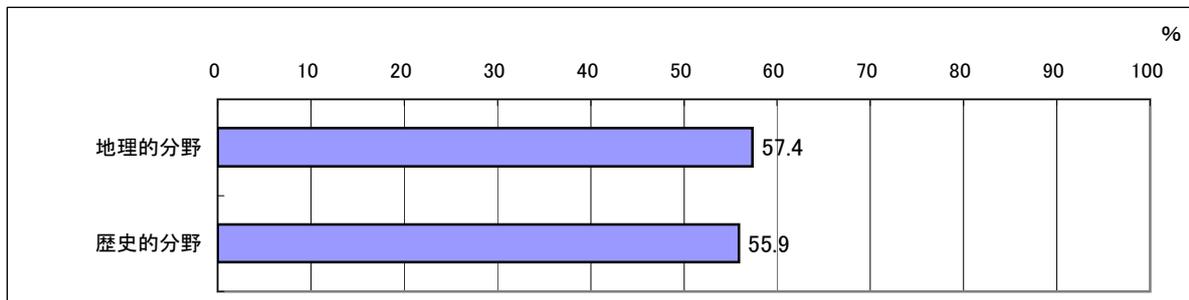
- ◎: 気温の変化についての理解
- : 地面の温度変化のグラフの読み取り
- △: 月の動きのきまりについての理解
- ▲: 気温の適切な測り方についての理解

《中学校第3学年 社会》

県全体の正答率

56.5%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である △:十分とはいえない ▲:不十分である

[地理的分野]

- ◎: 縮尺の大きな新旧の地図を比較して、土地の変化を読み取ること
- △: 時差や距離の計算等、様々な地図を目的に応じて活用すること
- ▲: 複数の資料を関連づけて読み取り、説明すること

[歴史的分野]

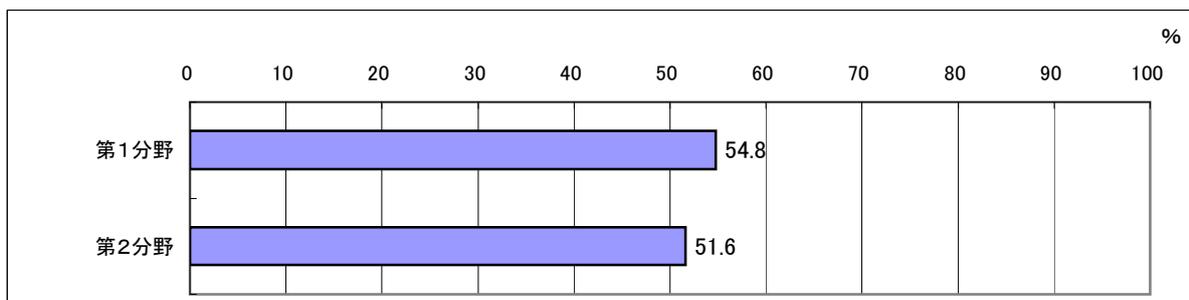
- △: 中世の基礎的・基本的な歴史的事象を、時代の特色と関連づけること
- ▲: 写真や古文などの資料を基にして、一揆の原因や影響を考察すること

《中学校第3学年 理科》

県全体の正答率

53.2%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である △:十分とはいえない ▲:不十分である

[第1分野]

- ◎: 凸レンズによる像についての理解
- △: 物質の性質を調べる方法について考察すること
- ▲: 実験結果を基に、適切にグラフを作成すること

[第2分野]

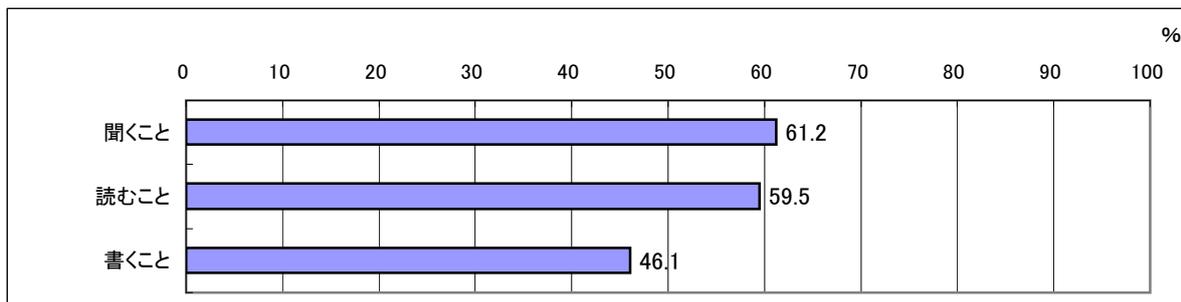
- : 天気図を読み取り、天気を予測すること
- △: 消化と吸収のしくみについての理解
- ▲: 地震のデータを処理し、考察すること

《中学校第3学年 英語》

県全体の正答率

56.3%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である △:十分とはいえない ▲:不十分である

[聞くこと]

- : 絵の内容を表す英文を聞き取ること
- △: 英文(スピーチ)を聞いて、具体的な内容や大切な部分をとらえること

[読むこと]

- : 対話の流れや場面に応じた適切な表現を選択すること
- △: まとまりのある長さの英文を読んで、その概要や要点をとらえること

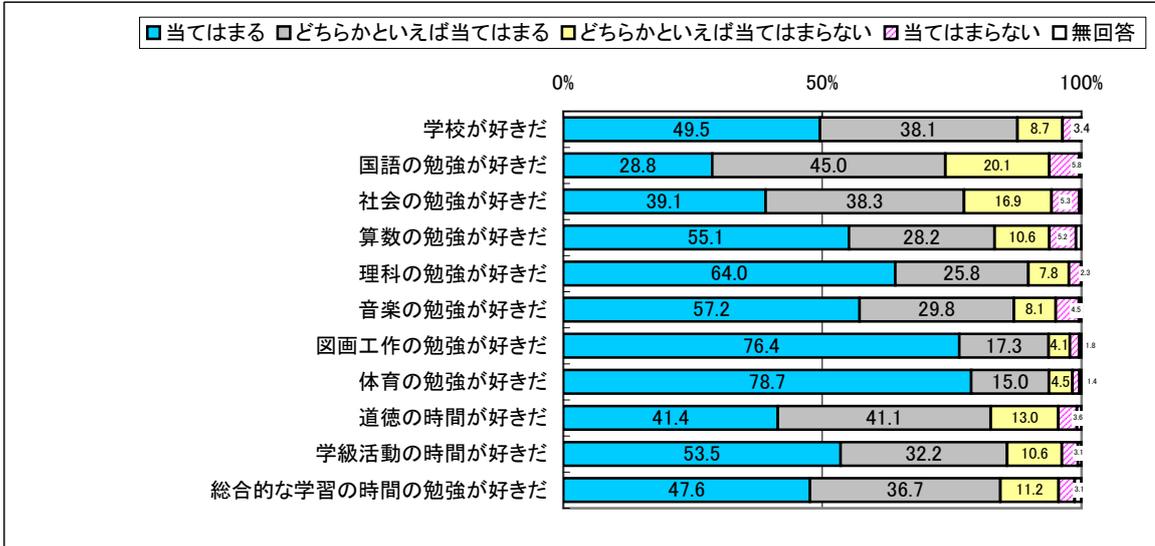
[書くこと]

- △: if節を含む文など、英文を正確な語順で書くこと
- ▲: 与えられた情報を基に伝えたい内容を英文で書いたり、自分の知っていることや意見などを英文で書いたりすること

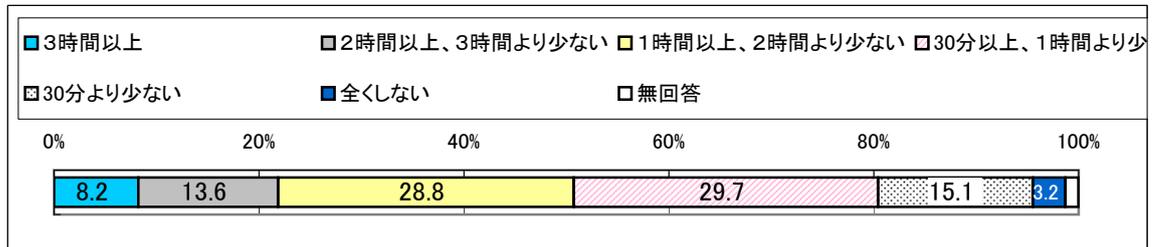
(2) 質問紙調査結果

《小学校第4学年》

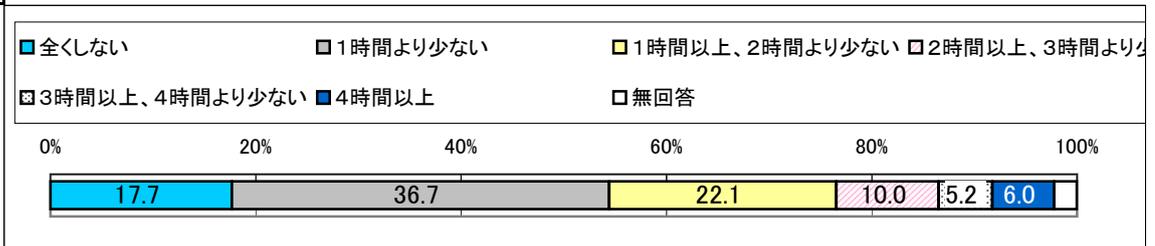
1 学校、勉強が好きか。



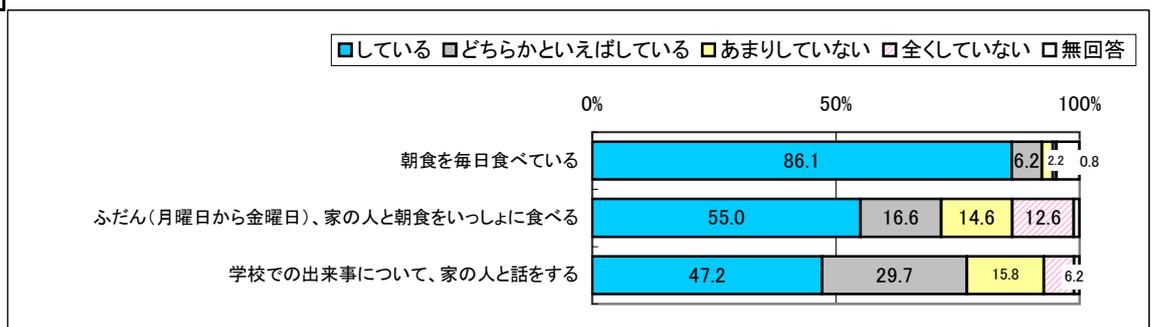
2 ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりの勉強時間はどれくらいか。(学習塾や家庭教師の時間もふくむ。)



3 ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりのテレビゲームやインターネットの時間はどれくらいか。



4 あなたは、生活の中で次のようなことをしているか。

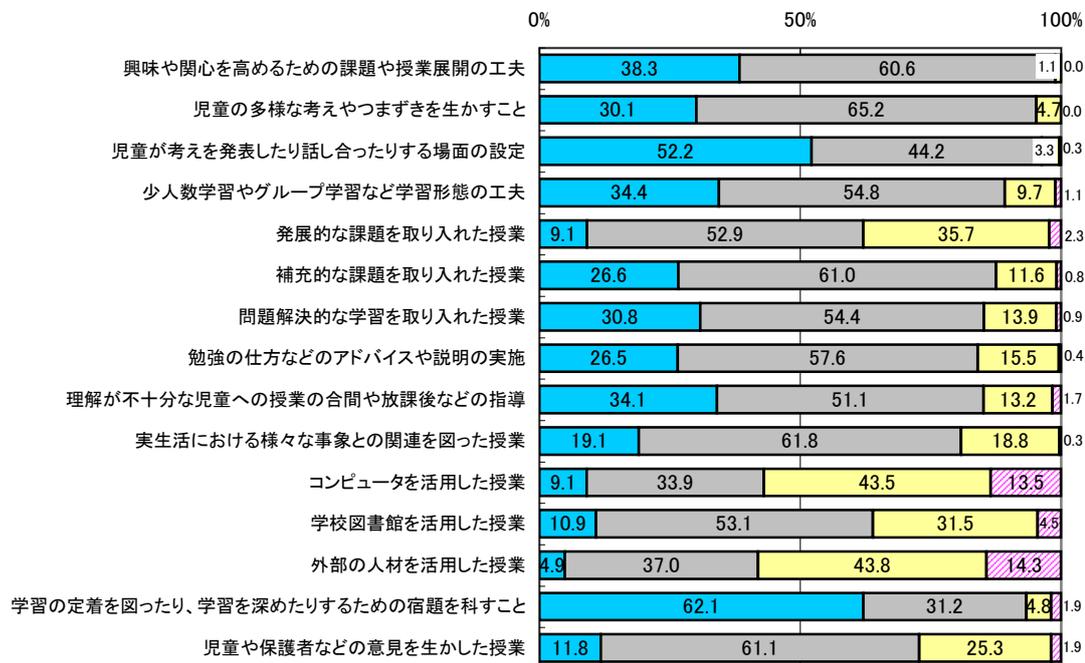


《教員》

1 授業に対する意識

小学校

■よくしている □どちらかといえばしている ■どちらかといえばしていない ■ほとんどしていない



中学校

■よくしている □どちらかといえばしている ■どちらかといえばしていない ■ほとんどしていない

